

学校ニュース **1月** 笑顔満開！ 地域と共に高まる子どもたち ～ふるさと郡上（白鳥）を愛し、地域と共に高まる学校に～

郡上の雪は最高！ スキー教室

今年度もスキー教室を順調に実施しています。1月19日に高学年スキー教室を、1月25日には中学年スキー教室を行いました。絶好のスキー日和の中、子どもたちは一日たっぷりスキーを楽しむことができました。このスキー教室では、3年生は4名の保護者講師の方、4年生は3名の白鳥スキークラブの講師の方、5年生は5名の保護者講師の方、6年生は4名の保護者講師の方に協力していただけ、子どもたちの技能に応じて優しく、そして見事な指導をしてくださいました。

最初は何回も転んで、それでも立ち上がってボーゲンの練習を重ねた子どもたちが、リフトに乗ってゲレンデの上の方から滑れるようになったり、グループでトレインを組みながら華麗に滑って降りてきたり、どの子も最後まであきらめことなく練習をやり切り、上達することができました。そして、スキーの楽しさを十二分に味わうことができました。また、講師の方の話の聞き方、挨拶、仲間への思いやりなども大切にしながらスキー教室ができたこともとてもよかったです。

雪が多く、スキー場が身近にある郡上の学校だからこそできるスキー教室。たくさんの講師の方が教えてくださるからこそできるスキー教室。貴重な体験ができたスキー教室の1日です。

1、2年生の子どもたちは、2月1日に予定している低学年親子スキー教室を楽しみにしています。



シリーズ大中学（郡上学）⑪『郡上ビク』

6年生が名人さんから話を聞きました

【郡上ビク作りの名人】益田康矢さん

昨年12月に「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。鮎釣りでは、釣った鮎を入れておく「ビク」という竹で編んだ入れ物があります。益田さんは中学校2年生の時に竹に魅了され、お師匠さんについて竹を割る修行をされました。その後、郡上ビクを作るようになり、今ではこの郡上ビクを作るのは、益田さんだけになってしまったそうです。子どもたちは、益田さんの話を聞いたり、神のように薄く竹を切る実演を見た後、自分で竹細工の風車を作ってみました。伝統を、自分の好きなことを、長く守り続けていこうとする益田さんから、多くのことを学ぶことができました。



風車やビクを作る前の竹を切る時に、ぎりぎりまで切ったり、昔の工夫がしてあるビクを作ったりしていて、すごいと思いました。風車を作るだけでも時間がかかったりするのに、康矢さんは郡上ビクを4時間とかで作るからすごいと思いました。郡上ビクを作る人が増えてくれるように、伝えていきたいです。（和田唯瑠）

給食センターの方が来てくださいました

給食センターの調理員さんと栄養教諭の金森先生が学校を訪問してくださり、1年生と4年生の教室で給食についての話をしてくださいました。1m以上もある鍋を使って、10人で約1000人分の給食を作っていることや、この日の給食の献立である、「うむしめし」のことを聞きました。「うむし」とはにぼしのことで、にぼしの入った炊き込みご飯であり、郡上の郷土料理です。給食センターの方のお話を直接聞いて、子どもたちはますます給食が好きになりました。毎日おいしい給食を、ありがとうございます！



資源回収を再開します

プール下倉庫をスキー教室の板を保管するために使用しておりましたが、**2月5日（月）より**資源回収を再開します。ご協力、よろしくお願いいたします。